

令和6年11月8日
大阪公立大学医学部附属病院

甲状腺がんの手術時に誤って迷走神経を切断した事例について

当院において、甲状腺がんの手術時に、誤って迷走神経を切断した事例が発生いたしましたことをご報告申し上げます。この事例におきまして、院内で医療安全に関する会議を開催し、検討を行いました。その結果、手術中に専門医（指導医）が不在となる時間が発生し、専門医から執刀医への指示・指導がない環境下で執刀医が1人で手術を継続したため、本事例が起きたと判断いたしました。今後、院内で緊急事態が起こり、医師が手術室を離れないといけなくなった際にも、手術が安全に実施できる体制を確保すること、体制の確保ができない場合は手術の中止または延期を徹底することで、再発防止に取り組んでおります。また、今回の事例発生を直ちに、ご家族へ報告し、その後の対応の相談を行わなかったことについても、職員に対して手順の遵守を徹底することで、再発防止に取り組んでおります。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。